

JIA 城北地域会 平成 24 年度 活動報告書

資料 2

(氏名の敬称は略します)

2012.4.14 平成 23 年度 JIA 城北地域会 総会

会 場： 自由学園 明日館 会議室タリアセン

内 容： 平成 23 年度の活動報告と平成 24 年度の活動 など

出 席： 秋山 信行、飯村 和道、石田 敏明、泉 幸 甫、磯部 和久、伊藤 伍朗、大川 宗治、
 片山 和俊、亀井 天元、久間 常生、齋藤 孝彦、柴田 いづみ、柴田 知彦、鈴木 和貴、
 田口 雅之、竹内 啓二、武田 実代子、中嶋 富男、信原 利行、早 川 泰、林 秀 司、
 廣瀬 光夫、深川 良治、藤本 昌也、松本 哲夫、南 知 之、秋元 美千代、阿部 治子、
 色川 善一、佐 野 綾、山本 雅之、吉 田 孝

(名 前は当日出席、名 前は委任状にて出席 委任状を含む出席者計；16 名／32 名)

2012.5.19 まち歩き「サンシティと板橋の崖線」(アーキテツガーデン 2012 参加企画)

コース： 三田線 志村三丁目駅 改札口(集合)ーサンシティー若木二丁目ー上板橋駅(解散)

参加者： 10 名

概 要：

板橋区北西部から北区を縦断する武蔵野台地の周縁部の崖線は、城北地域の景観上の特色の一つ。その崖線に沿って、みどり豊かな集合住宅・サンシティと木造住宅が密集しているが不思議な魅力に満ちた「若木二丁目地区」を訪ねた。

そして、人が集まって住むことの魅力やコミュニティについて考えたまち歩きであった。



(サンシティの中庭にて)



(若木二丁目地区)

2012.6.14 城北地域会 例会

会 場： JIA 館 1 階 建築家クラブ

参加者： 6 名

議 題：

- 1) 地域会誌「KNIT」第 2 号の発行と第 3 号以降について
- 2) まち歩き企画（次回のまち歩きについて／豊島区）
- 3) 地域会 HP の活用（会員名簿等の修正）
- 4) アーキテクトガーデン・プログラムへの地域会からの参加について
- 5) 空間ワークショップの開催と参加協力について

中央区立城東小学校（6/23 中央地域会）、豊島区立仰高小学校（10/28 城北地域会）

2012.6.23 アーキテクトガーデン・プログラムへの参加

テーマ： 美しいまちへ 建築家が担うこと・市民が担うこと

概 要：

第 1 部／地域会からの報告（新宿・城北；信原 利行・千代田・杉並・世田谷・渋谷）

第 2 部／円卓サロンセミナー 「街をつくる建築」をつくろう（柳 沢 厚）

2012.7.14 まち歩き「城北地域をつなぐみどり豊かな道路」

コース： 向原（放射36号）－ 千川・要町界限 － 立教大学 － 池袋二丁目緑化事業地区

参加者： 12 名

概 要：

千川・要町界限から立教大学へと巡りながら街なかの緑化と街をつなぐ緑について検証した。

また、池袋二丁目・三丁目地区で展開されている街中緑化事業（豊島区界限緑化推進事業）を見学し、城北地域をつなぐ「街路（街道）」について、緑の視点から検証した。



（栗島神社にて）



（立教大学）

2012.8.9 ～ 地域会誌「KNIT 2号」 編集会議と発行

日 時： 2012.8.9 (木) 19:00 ～ 21:00 建築家クラブ
2012.9.1 (土) 16:00 ～ 19:00 SKM設計計画事務所

発 行： 2012.10.1

執筆者： 13 名 (含 一般市民)

特 集： 2050 年の城北地域

リアリティある将来のあるべき姿を・・・

過去を振り返り、これまでの変化の実相から考える

将来像を示すには、未来学的に発想する方法、現在の指標からトレンド予測する方法など、いろいろと考えられます。ここでは、過去を遡り、変化の実相をとらえ、その事実を踏まえ、



、将来像のあるべき、あるいは、そうになってしまうのでは、と思われる姿を示します。事実に基づいたリアリティを大切にしたいと思います。

戦後の建築家達がモノのない時代、復興・成長への意欲に燃えた未来図ではなく、個人の発想と表現により時代を見通す（とする）作品主義でもなく、あくまでも事実を基本とし、取り上げた個人の価値判断をそこに加え、将来を見通す方法とします。社会的な変化、個人の仕事によるその場の小さな変化、幅広く取り上げることは、城北地域会独自の方法となるでしょう。（寄稿依頼文より）地域でのまちづくり活動をする団体からも寄稿していただき、行政等の団体や城北地域在住や在勤の JIA 会員などに配布。地域会活動の紹介と活動への参加を広く呼び掛けることも目的としている。

2012.9.14 ～ 法人形態の変更に伴う地域会規則や会員種別についての検討

日 時： 2012.10.11 (木) 19:00 ～ 21:00 建築家クラブ
2012.11.08 (木) 19:00 ～ 21:00 建築家クラブ
2013.01.10 (木) 19:00 ～ 21:00 SKM設計計画事務所
2013.02.14 (木) 19:00 ～ 21:00 建築家クラブ
2013.03.22 (木) 19:00 ～ 21:00 建築家クラブ

概 要：

本部の方針に沿っての検討作業。

公益法人になって以降は、翌年度の活動予算書を12月までに支部に提出しなければならないため、総会の場とは別に、翌年度の活動について協議する機会が必要となる。

今回検討された「地域会規則」は総会で決議する。また、今年度の特例として、3月に予算案は本部に提出したが、総会で決議し、必要があれば、本部へ修正を依頼する。

2012.10.28 空間ワークショップの開催

場 所： 豊島区立仰高小学校 体育館

参加者： 小学 1～6 年生：4 グループ 40 人

1 班 高田 典夫（三多摩）、桜本 将樹（神奈川）

2 班 寺本 晰子（中野）、信原 利行

3 班 小池 正人（中野）、色川 善一、深川 良治

4 班 大 野 優（城東）、秋山 信行

総括 鈴木 和貴（ファシリテーター 10 名）

主 催： 仰高小おやじの会「かるがもクラブ」代表 飯塚 浄人

資材は中野地域会より借用

概 要：

制作や発表を通じて子供達に自分たちで創る空間を体験してもらおうと同時に、その結果にたどり着くまでのプロセスの大切さについても経験してもらおう。特に、内部にも入ることのできるような作品の制作は貴重な経験であり、その素晴らしさや自身の可能性につても引き出してあげることが目的として開催した。

結果、学齢の異なる子供同士での協調・協力関係が随所に見られ、開催の目的は達せられたと思う。



2012.12.15 まち歩き／「北区に残る戦争遺跡を訪ね 地域資産の保存と活用を考える」

コース：

近藤勇の墓、千川上水分水栓、上御代の台分譲地、旧陸軍省境界石、加賀公園、石神井川緑道、憲兵詰所跡、中央公園文化センター（旧陸軍東京第一造兵廠本部）、中央図書館（旧陸軍東京第一造兵廠銃砲製造所）、北区立十条富士見中学校、十条銀座

参加者： 14 名（含 一般市民）

概 要：

城北地域には敗戦により払い下げられた土地の多くが一団の敷地として残り、大規模な集合住宅や大学等の文教施設、また公園等の公共施設の用地として活用されています。そして、これらの残されたモノは地域の骨格を形成する重要な要素となっています。特に北区ではその特色が顕著にみられ、近年、これらを地域資産としてとらえ、積極的にその活用が図られています。

今回のまち歩きは、歴史の時間をたどるようなコースで巡り、公共施設として活用されている北区立中央公園文化センター（旧東京第一陸軍造兵廠本部）、北区立中央図書館（旧東京第一陸軍造兵廠銃砲製造所）等を訪ねます。

そして、現在のエネルギーを感じさせてくれる「十条銀座」を訪ねるコースです。（案内文抜粋）

